

## 陳情者とのこれまでの経緯について

### ■ 第 1 回意見交換会後の状況

- ・ 第 1 回意見交換会后、別添資料 1 - 1 のとおり、洲崎陣出の杜の会から、同会が意見交換会で説明することになった経緯についての市の説明の中の「陣出の会の方が自分たちの考えを説明したいと言った」という発言は事実と違うという指摘があり、同会への謝罪と公開の訂正を求めるといった文書をいただきました。
- ・ これを受け、前回、同会が意見交換会の中で説明することになった経緯について、改めて説明させていただきます。

#### これまでの経緯

- ・ 平成 26 年 12 月に、洲崎陣出の杜の会（陳情者）からの、「計画に広く市民からの意見を反映してほしい」という趣旨の陳情が採択される。（※ 1）
- ・ これを受け、別添資料 1 - 3 のとおり、平成 27 年 1 月から 7 月までに全 6 回同会との意見交換を行い、同会の考えを聞くとともに、市の考えも説明してきた。市としては、反映できるものは反映していくが、事業を成立させるためには、実現性も考慮する必要があり、できることとできないことを精査していきたいと回答していた。
- ・ また、その中で、陳情の趣旨を踏まえ、当初から同会からの意見だけを聞くのではなく、広く市民から意見をもらうための意見交換会を開催する方針も説明しており、そのことは同会も了承していた。同時に、意見交換会の構成員として考えているため、参加の打診も行っており、その時点では参加の意向があったと認識していた。
- ・ しかし、同会との意見交換を続ける中で、両者の考えに隔たりがあり、それを埋めることが困難であると判断し、市から、両者の隔たりについては、意見交換会に参加して説明すれば良いのではないかと提案を行ったが、同会は、意見交換会では同会の主張は伝わらないと判断し独自の活動をするということで、意見交換会へ参加しないことの連絡を受けた。
- ・ そこで同会に対し、意見交換会の冒頭に同会の考えを説明してはどうかと確認したところ、当初は難しいという回答であったが、後日検討した結果、説明することになったとの回答があったため、第 1 回の意見交換会の冒頭に説明することになった。

#### ※ 1 陳情の審議における建設常任委員会での意見

- ・ 人口減少や超高齢化を反映した計画になっていないので、早急に見直すべきである。
- ・ 大幅な見直しは難しいと思うが、都市計画決定の遅れでできた時間で、市民意見を反映していくべきである。
- ・ 権利者や地域住民の意見を汲んでいかなければいけない。
- ・ 権利者への影響や早期実現を求める声があるということを良く考えて対応してほしい。
- ・ 陳情は、計画を延ばすということではなく、早期実現のために見直すべきとしているので、対応するべきである。